



企業の
社会的責任
(CSR), ESG

森林生態系
生物多様性
の回復

気候変動
二酸化炭素
(CO₂)の吸収

広告宣伝
社員教育
国際交流

熱帯林造成
基金

国連持続可能
な開発目標
(SDGs)

海外植林により
緑の地球を
次の世代へ！

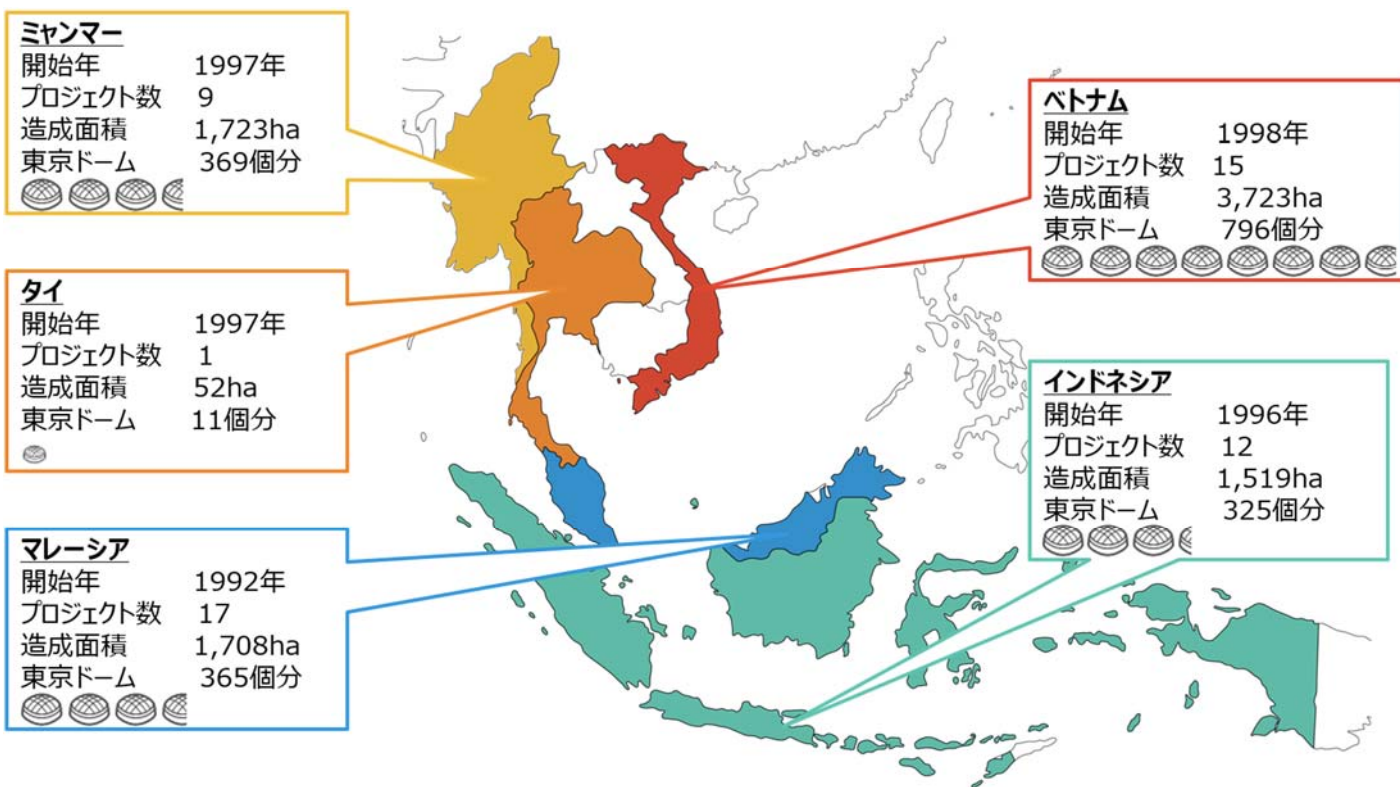




「熱帯林造成基金」とは

熱帯途上国の荒廃地の緑化を図るために、国際緑化推進センター(JIFPRO)は、1992年に「熱帯林造成基金」を設立し、民間企業のCSRや個人の方々からの寄付金により、主に東南アジア諸国で森林造成事業を実施しています。海外、特に熱帯地域の荒廃地に植林して、緑の大地を復元していくことは、森林生態系及び生物多様性の回復、気候変動対策としてのCO2吸収および途上国の地域住民の生活向上といった国連の持続可能な開発目標(SGDs)に貢献するものです。

これまで、東南アジア5カ国において、53プロジェクト、8,725haの面積に植林を実施してきました。これは、東京ドーム1,866個分に相当する面積です。



公益財団法人 国際緑化推進センター

Japan International Forestry Promotion and Cooperation Center

JIFPRO